

「農業機械製造から 農業経営の ソリューション提供へ向けて」

今回は、「食料生産」や「エネルギー変換」などの分野でさまざまな社会課題解決に貢献され、また、これらを通じて培った先進テクノロジーで持続可能な資源循環型社会の実現に向けて社業を展開されている「ヤンマー（株）」様にご登壇頂きます。

とりわけ農業分野では、農業機械製造のみならず、農業経営ソリューションの提供に至るまで、幅広いビジネス展開を目指して取り組まれている該社について、経営理念、事業領域 / ビジネスモデル、これからの狙い、そのための技術開発等の施策、更には求められる人材像など、様々な観点から講師の思いを直接届けて頂きます。

[講演者] ヤンマー株式会社



技術顧問

かんだ ひろし

苅田 広氏

(元 ヤンマーホールディングス株式会社 代表取締役)

1976年3月 京都大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 卒業
1976年4月 ヤンマーディーゼル（株）入社

技術開発本部 研究所 エンジン研究部

1984年9月 米国（シンシナティ大学）留学

1996年6月 同社 技術研究所 基礎研究部長

2000年6月 同社 技監（兼）中央研究所 企画部長

2002年6月 同社 取締役 技術統括本部 中央研究所長

2006年6月 ヤンマー（株）常務取締役 R & D戦略部長（兼）中央研究所長

2009年6月 同社 専務取締役 R & D戦略部長（兼）中央研究所長

2011年3月 同社 専務取締役 R & D戦略部長

2015年6月 ヤンマーホールディングス（株）代表取締役

2018年6月 ヤンマー（株）技術顧問

講演概要 ヤンマーはディーゼルエンジン、農業機械、建設機械等の製造に従事し2012年に100周年を迎えました。これからのヤンマーは、農家の業務全般にわたるソリューションを提供することをめざしています。つまり、耕起、田植え、刈取りなどの農業機械を製造、販売するだけではなく、種苗の提供、土づくり支援、育成管理支援、収穫物の管理、加工、販路マッチングまで農業経営におけるバリューチェーン全体でソリューションを提供するための技術開発を行っています。具体的には、植物栽培そのものに関する研究、IoTを用いた栽培の高度化、減農薬への取り組み、農業残渣による資源循環の仕組み構築等様々な分野に取り組んでいます。それらの取り組みの紹介とともに、これからのヤンマーが期待する人材等についてもお話をさせていただきます。

開催日時：

2018年10月9日[火]17:30~

対象：京都大学教員・学生、コンソーシアム会員、一部招待者

定員：40名程度

参加費：無料 [懇話会 1,000円 19:00頃より開始]

申込：事前申込要 下記、申込フォームからお申込みください。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/8ee3f5b0148371>

締切：2018年10月2日[火]

QRコードより申込フォームにアクセスいただけます。



開催場所：

京都大学デザインイノベーション拠点

京都リサーチパーク 9号館 506

<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/access/>

運営：貫井 孝

[京都大学デザイン学リーディング大学院 特任教授]

主催：京都大学デザイン学大学院連携プログラム

デザインイノベーションコンソーシアム

【問合せ】デザインイノベーションコンソーシアム事務局

京都リサーチパーク株式会社 松浦、柳本

e-mail info@designinnovation.jp TEL 075-315-8522